

NAKAYO

2022年3月期 決算説明会



株式会社ナカヨ
2022年5月27日

2022年3月期決算概況

(常務執行役員 岩本 修)

1. 2022年3月期業績（連結）

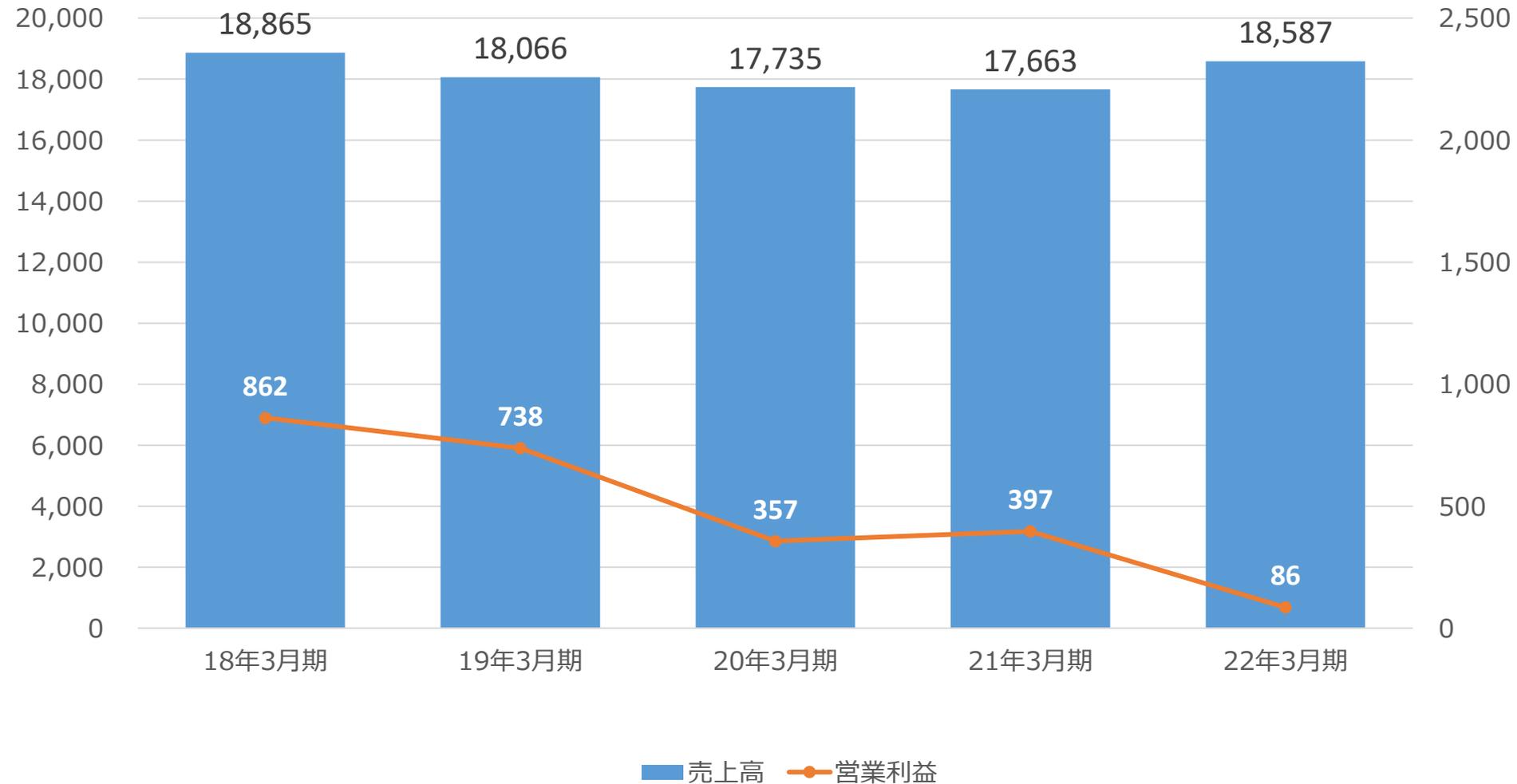
（単位：百万円、％）

	21年3月期実績	22年3月期実績	前期比
売上高	17,663	18,587	+ 5.2
営業利益 （営業利益率）	397 (2.3)	86 (0.5)	△78.2 (△1.8pt.)
経常利益 （経常利益率）	495 (2.8)	218 (1.2)	△56.0 (△1.6 pt.)
当期純利益 （純利益率）	271 (1.5)	281 (1.5)	+ 3.4 (0pt.)
自己資本当期純利益率 （ROE）	1.5	1.5	(0pt.)
1株当たり当期純利益	61.35円	63.31円	+1.96円

2. 売上高・営業利益推移

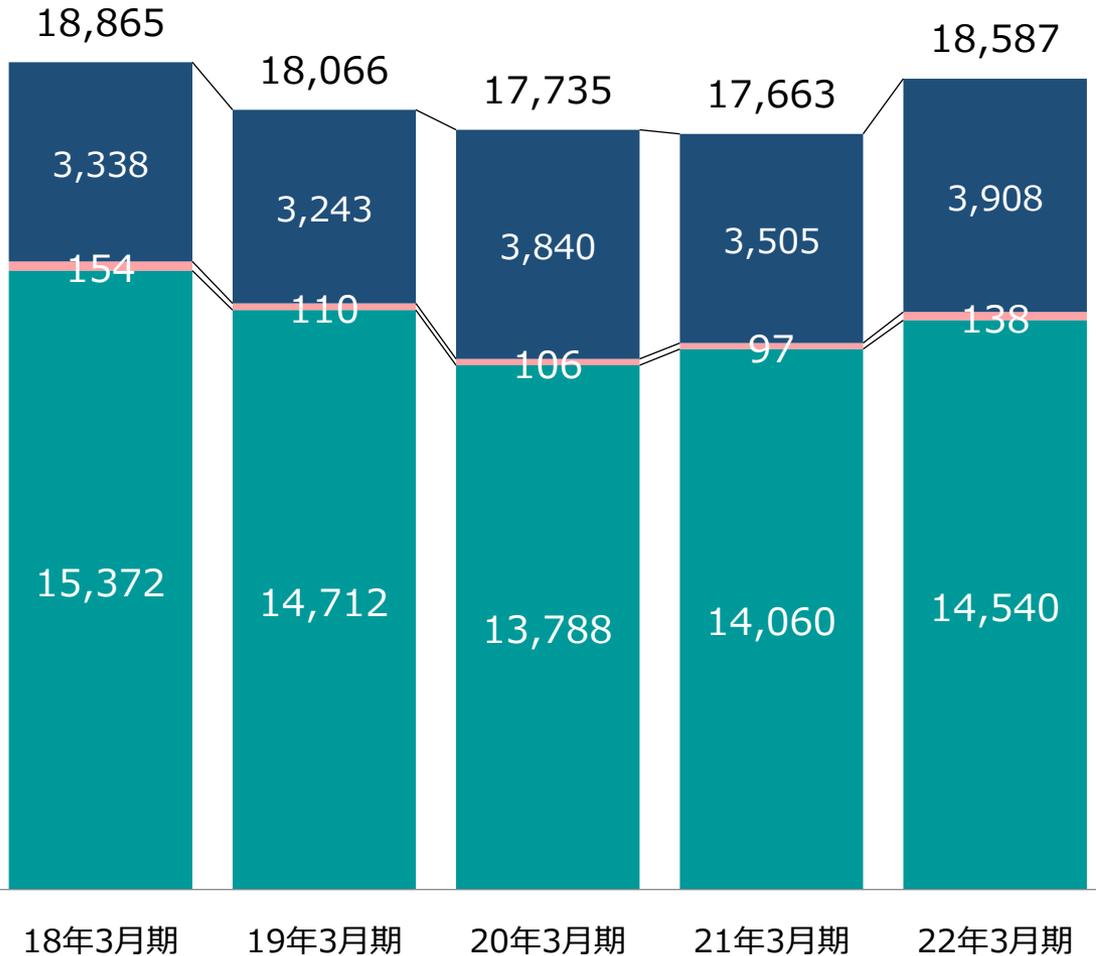
(売上高：百万円)

(営業利益：百万円)



3. 事業分類別連結売上高推移

(単位：百万円)



VD事業

+403 (+11.5%)

- ・プロバイダ関連
- ・環境関連
- ・工事費/作業費/保守

+181 (+24.5%)
+77 (+4405.0%)
+72 (+7.2%)



スマートX事業

+41 (+42.2%)

- ・介護/ヘルスケア関連
- ・開発費

+31 (+59.0%)
+19 (125.4%)



レガシー事業

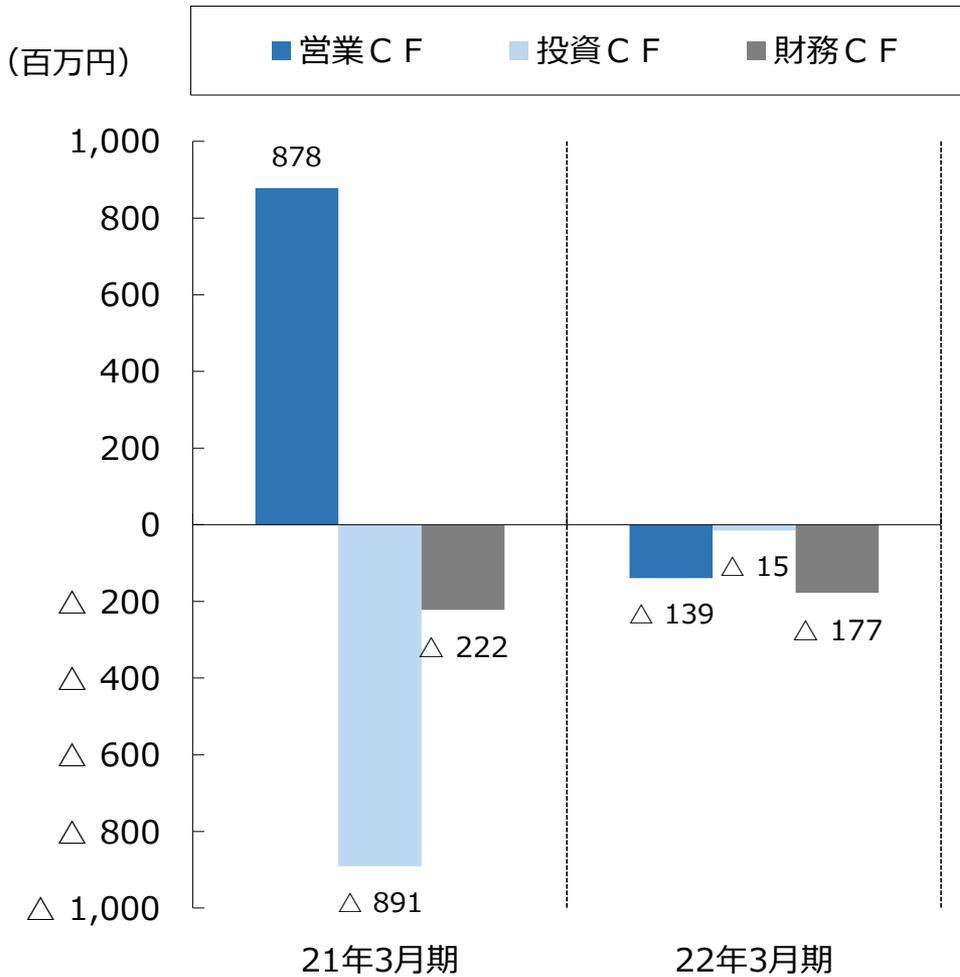
+480 (+3.4%)

- ・ビジネスホン関連
- ・コードレス電話機
- ・電話会議システム等

+991 (+10.9%)
+68 (+3.0%)
△79 (△54.8%)



4. 連結キャッシュ・フロー



22年3月期 連結キャッシュ・フローの主要な内訳

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	+564百万円
減価償却費	+369百万円
ソフトウェア償却額	+411百万円
売上債権の増加額	△322百万円
棚卸資産の増加額	△1,040百万円

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△287百万円
ソフトウェアの取得による支出	△282百万円
投資有価証券の売却による収入	+538百万円

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額	△177百万円
---------	---------

※ +はキャッシュの増加、△はキャッシュの減少を表す

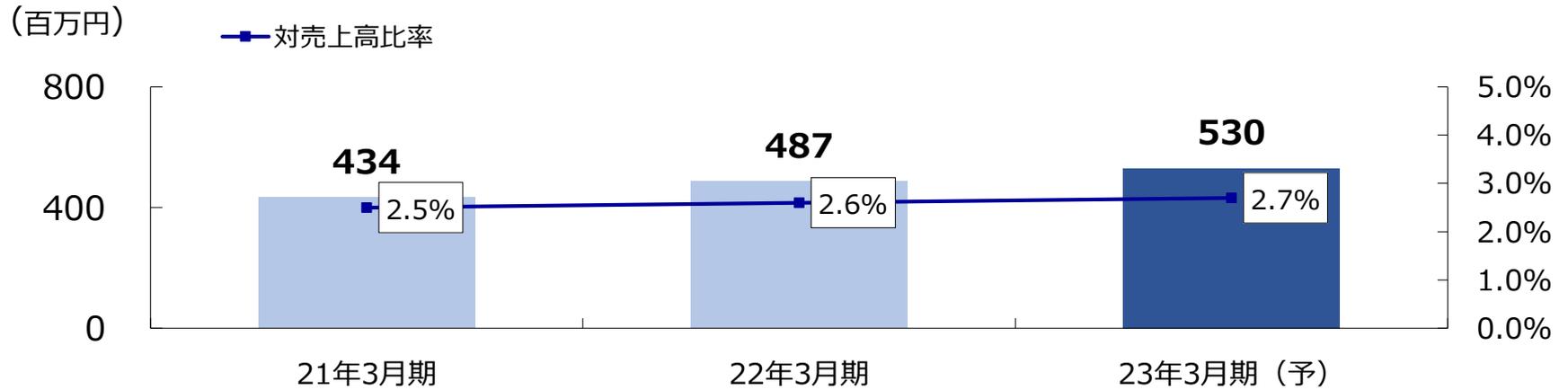
5. 2023年3月期予想（連結）

（単位：百万円、％）

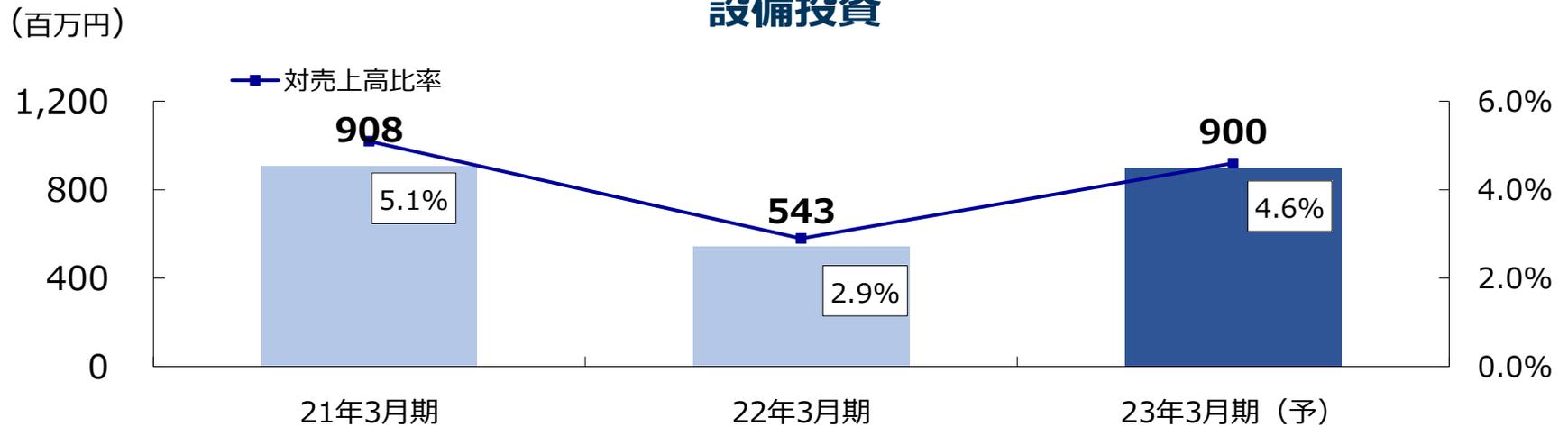
	22年3月期実績	23年3月期予想	前期比
売上高	18,587	19,600	+5.4
営業利益 （営業利益率）	86 (0.5)	550 (2.8)	+532.7 (+2.3pt.)
経常利益 （経常利益率）	218 (1.2)	670 (3.4)	+207.3 (+2.2pt.)
当期純利益 （純利益率）	281 (1.5)	410 (2.1)	+45.8 (+0.6pt.)
自己資本当期純利益率 (ROE)	1.5	2.1	(+0.6pt.)
1株当たり当期純利益	63.31円	92.25円	+28.94円

6. 研究開発費・設備投資（連結）

研究開発費



設備投資



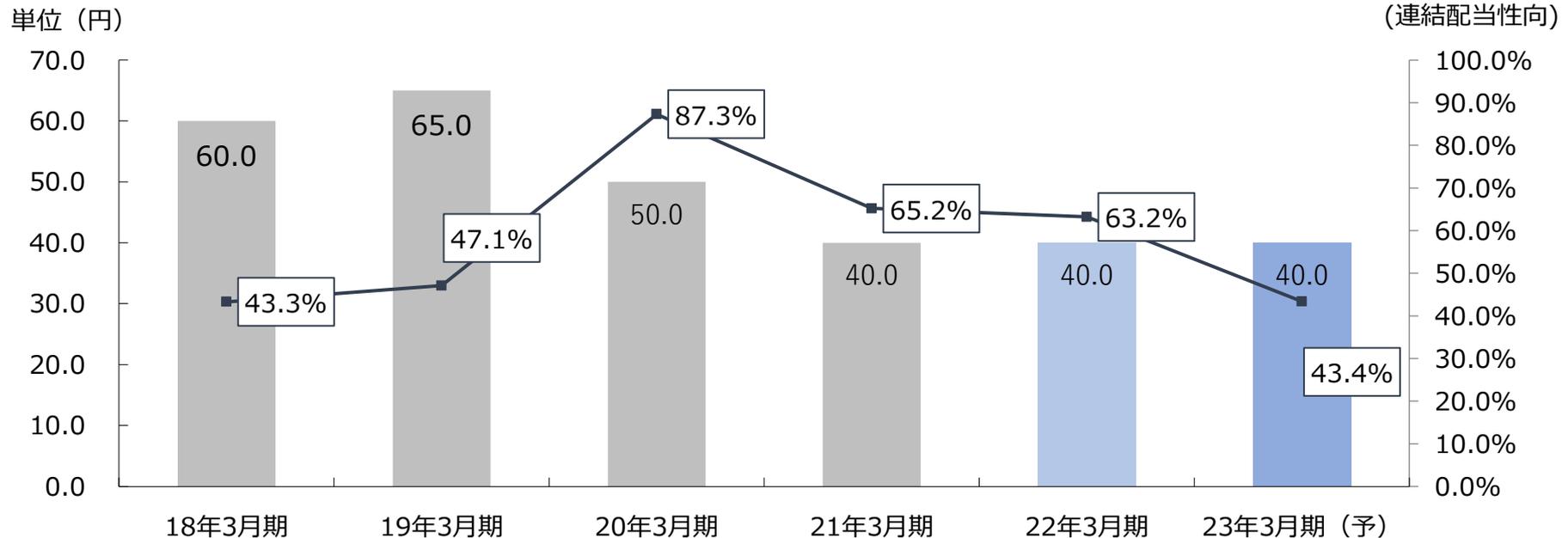
7. 配当について

- 22年3月期は、40円00銭 連結配当性向（63.2%）。
- 中長期的には、連結配当性向30%程度を目安に、安定的に実施することを基本方針としております。

1株当たり配当金および連結配当性向の推移

(1株当たり配当金)

■ 配当 ■ 連結配当性向



2017年10月1日で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しています。
配当金額は、株式併合後の数値に換算して記載しております。

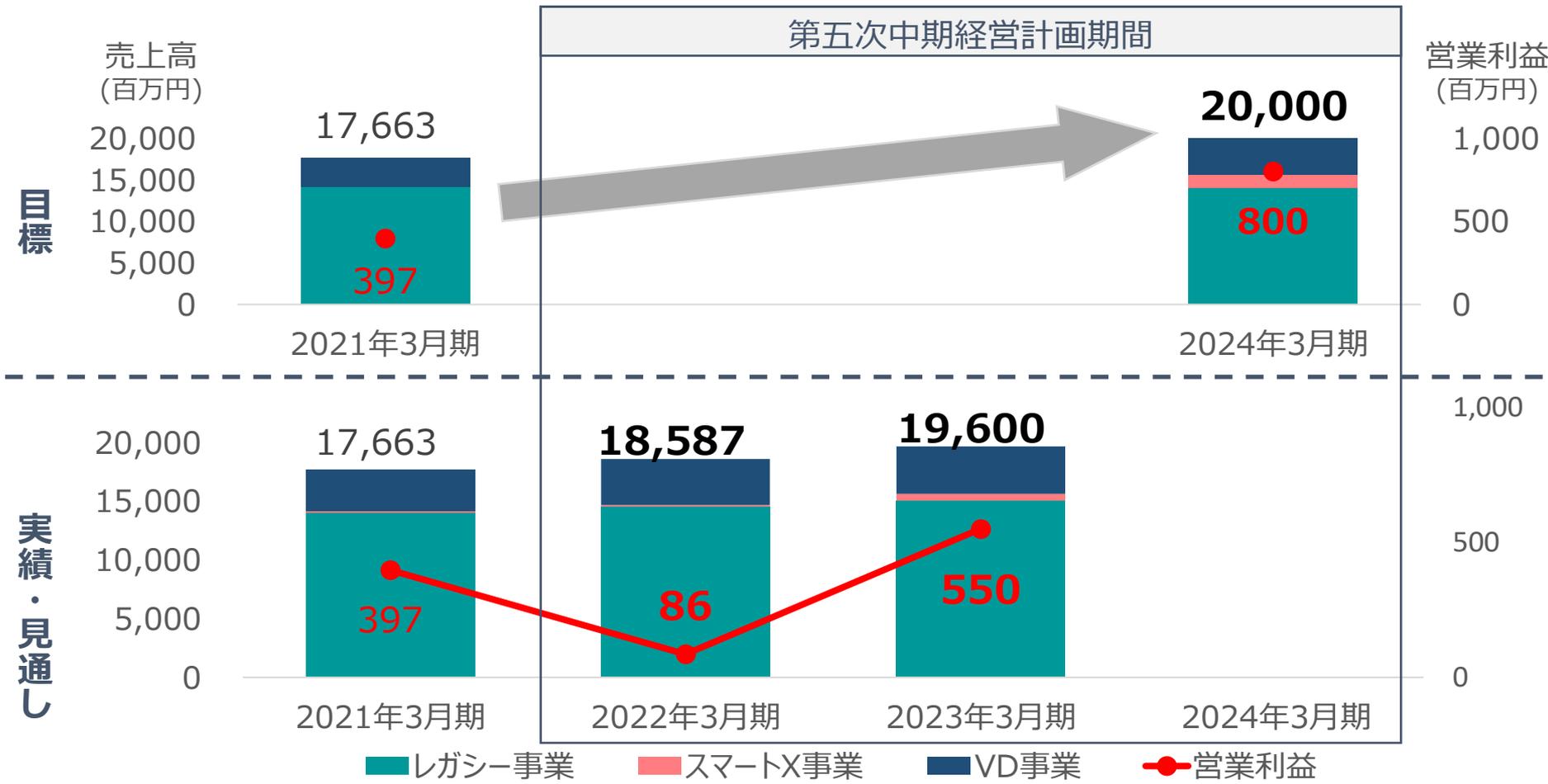
第五次中期経営計画進捗状況

(取締役 常務執行役員 貫井俊明)

(取締役 常務執行役員 原 和弘)

8-1. 第五次中期経営計画進捗状況

**目標
経営数値** 最終年度である2024年3月期に
売上高200億円、営業利益8億円（営業利益率4.0%）
を目指す



8-2. 第五次中期経営計画進捗状況

① 成長戦略

事業分類	成長戦略	2022年3月期の状況
レガシー事業	ビジネスホンを中心とした新たな製品展開と、コスト削減施策の推進により、 <u>中期的な売上の維持と営業利益率の改善</u> を目指す	部品確保・設計変更等による製品製造/出荷の継続により、 競合他社の需要を取り込みビジネスホンの売上が拡大
スマートX事業	経営資源の重点配分による新商品開発力強化に加え、新たな販路の開拓等を進め、 <u>事業基盤の確立を早期に実現</u> させる	新規開発商品の試作・トライアルの実施、および、先行商品の販売を開始
VD事業	商品ラインナップの拡充に加え、新市場の開拓やストックビジネスの拡大により、 <u>売上規模の拡大</u> を目指す	半導体の供給不足により一部商品の販売に影響があったものの、 エアクリーンNYCの拡販・プロバ イダ事業の新規顧客獲得を推進

② 外部環境の変化

- 世界的な半導体の供給不足、原材料価格の高騰の長期化
- 新型コロナウイルス感染症の再拡大、ウクライナ情勢、急速な円安進行等による経済への影響

中期経営計画2年目の主な取り組み

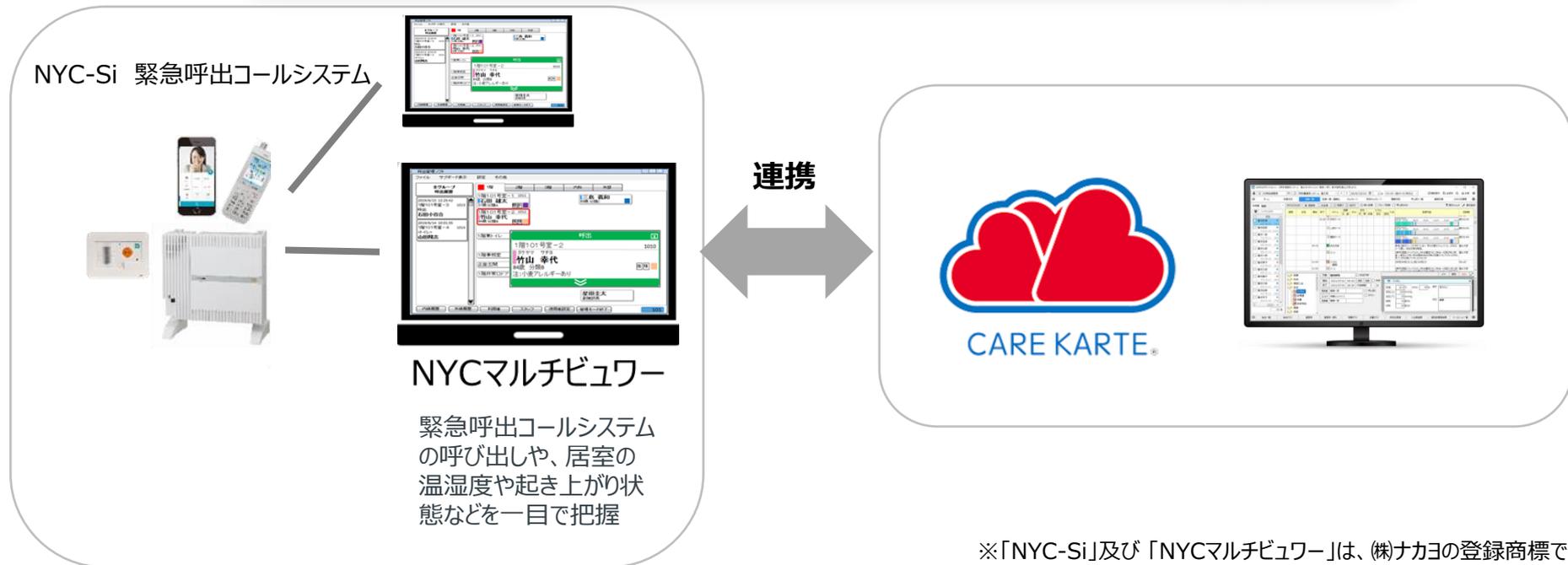
- 昨年度需要を取り込んだ**顧客との関係強化**、および、**アプリケーション商品・サービス商品の販売促進**による収益性の向上
- スマートX事業・VD事業を中心とした、**新商品の企画開発・トライアルの更なる活性化**
- スマートファクトリー化の推進、業務ツールの高度化**等による生産性向上(高付加価値化・コスト削減)

9-1. レガシー事業

「NYC-Siシリーズ」エンハンス 介護施設向け機能追加

介護施設向け働き方改革で施設スタッフの利便性を向上

呼出管理アプリケーション「NYC マルチビューワ」とケアコネクトジャパン「CARE KARTE」との連携



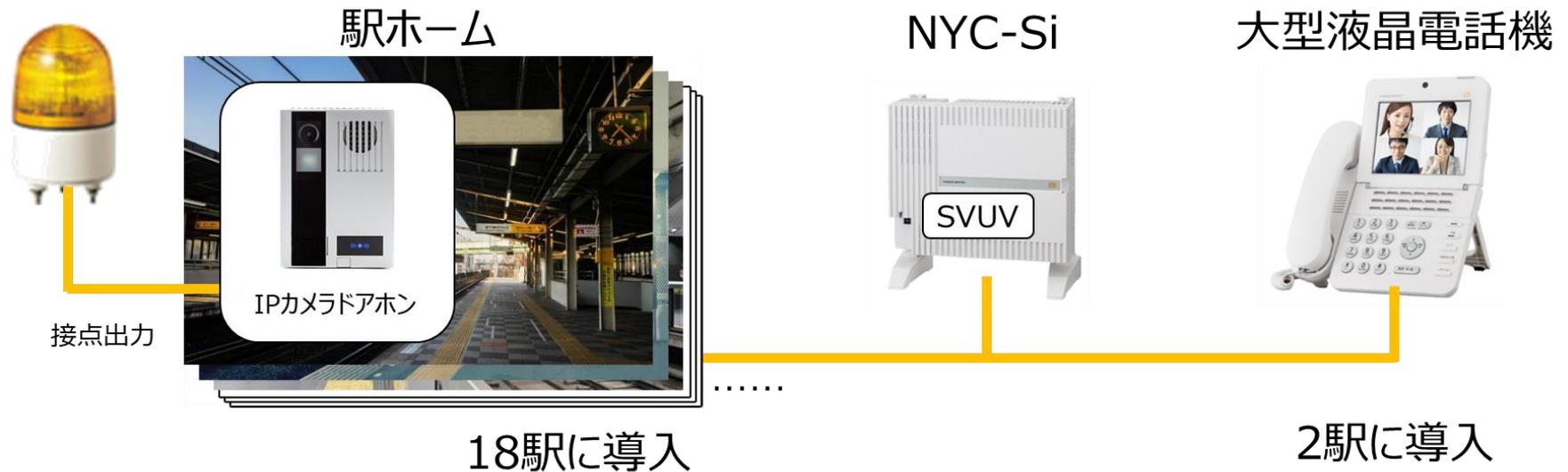
※「NYC-Si」及び「NYCマルチビューワ」は、(株)ナカヨの登録商標です

9-2. レガシー事業

システム提案できる IPカメラドアホン

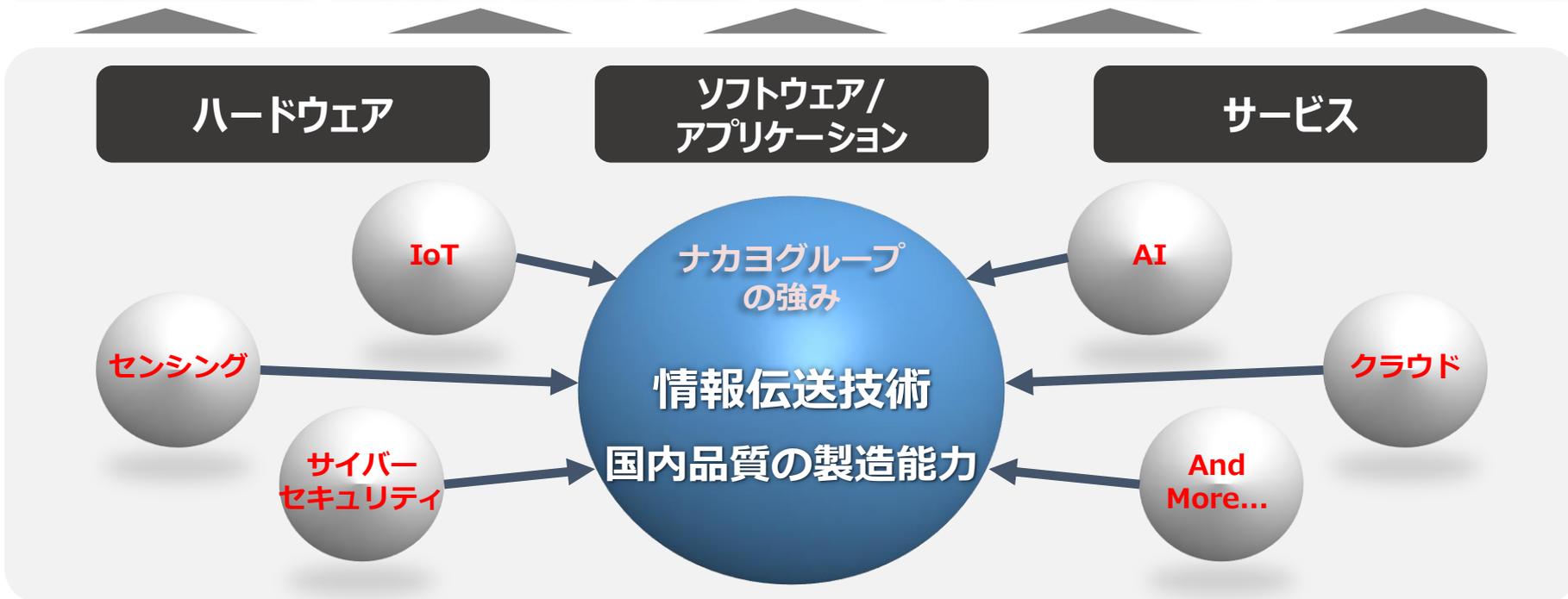
「IPCAMDH3」 IP テレフォニーシステム NYC-Si連動による導入事例

利用シーン：ホームでお困りのお客様がドアホンで呼び出し、2つの監視駅で対応
ホーム付近でもドアホンが押された事がわかるようにパトライトも点灯



10-1. スマートX事業

スマートX事業では、当社グループの強みである情報伝送技術と製造能力に、IoTやAI等の各種ITを融合させたソリューションを提供してまいります。



10-2. スマートX事業



アプリケーション



各種アプリケーション搭載により、幅広い用途で活用できる
「マイクロサーバ」 発売

国内大手モバイルキャリアのLTE SIM対応で社内LANを介さず通信可能

10-3. スマートX事業



IoTセンシングを容易にする「無線データセンシングアプリ」

ものづくりの現場や施設の監視・保守などに活用できます

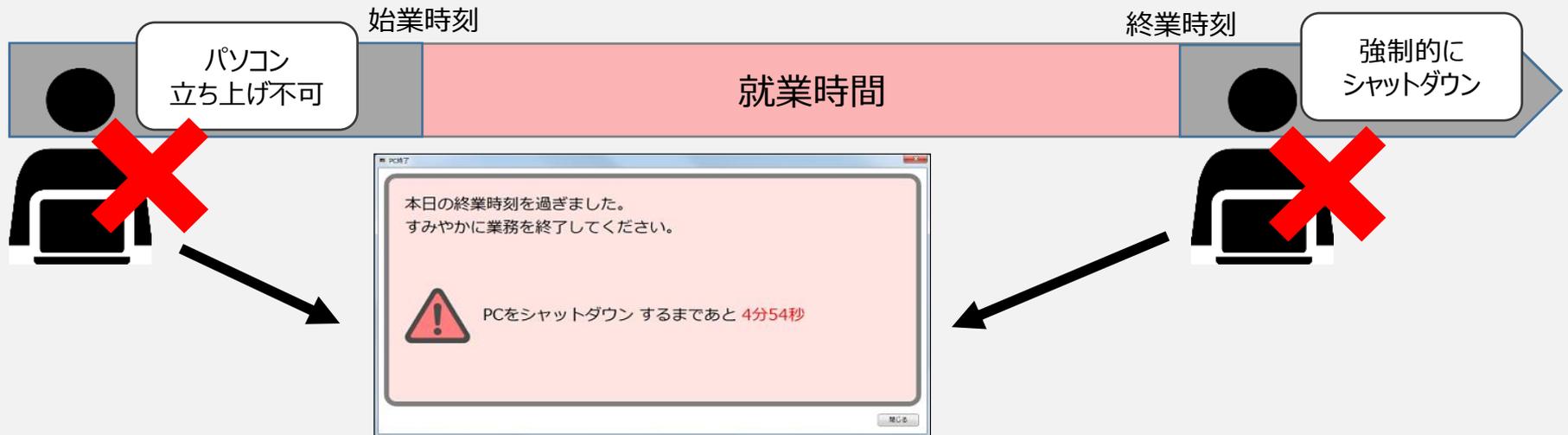


10-4. スマートX事業



NYC on Timeアシスト (PCシャットダウンアプリ) 近日発売予定

オフィスでも、テレワークでも残業抑制 真の働き方改革を



就業時間外にパソコンを起動すると警告画面をポップアップ表示し、強制的にシャットダウン。
就業時間内しかパソコンの操作をできない様、アプリケーションが制御します。

10-5. スマートX事業



オフィス



ビル



工場



介護/医療



文教/公共

オフィスアシスト 近日発売予定

コミュニケーション活性化、業務負担軽減に最適なグループウェア

マネジメントウィンドウ



ToDo機能

作業項目



Webミーティング

※一部オプションは月額料金が必要です。

11. VD事業

お客様のニーズに合わせた商材の販売

【取扱い商品例】

■ 業務用小型オゾン発生器

エアクリーンNYC (ナイス)



※「エアクリーンNYC」は、(株)ナカヨの登録商標です

■ 3Dプリンタ

ダヴィンチ Jr.シリーズ ダヴィンチ Color 3D プリンタ



※ダヴィンチシリーズはXYZ printing 社の商品です

■ ビル・マンション向けIPインターホン

2022年7月販売開始予定

ウルトラ
ultra



ULTRA TOUCH

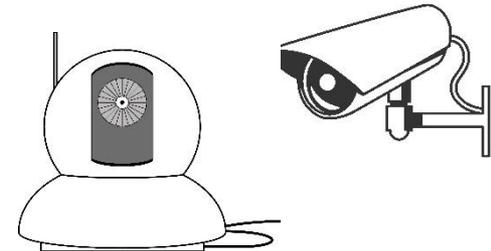


VISTO

VISTO ビスト
ENJOY THE SMART LIFE

※ビル・マンション向けIPインターホンはComelit社の商品です

■ ネットワークカメラ



用途に合わせ、様々なメーカーのカメラをご提案

12. スマートファクトリー化

部品移載作業の自動化→工数低減及び2名の活人化



スカロボット活用による
IC移載作業の自動化

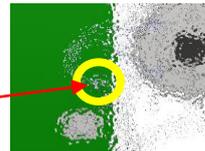
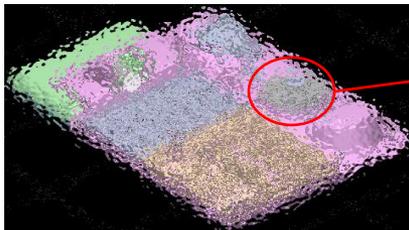


X線リールカウンター導入による
部品カウント作業の自動化



専用台車とタブレットを活用した
出庫指示書の電子化

工程設定デジタル化→工程設定業務の前倒し、作り込み品質の向上



3Dデータ活用による事前仮想検証を実施
 ・適正クリアランス確認、干渉チェック
 ・工程順序検討／アニメーション作業指示

13. ナカヨグループのESG経営とSDGsのゴール

E Environment 環境

- ✓ ゼロエミッション計画の推進
- ✓ 工場周辺の清掃活動
- ✓ 化学物質の削減
- ✓ グリーン調達活動



S Social 社会

- ✓ 働き方改革の推進
- ✓ 有給休暇取得率向上
- ✓ 人的資源への積極投資
- ✓ ダイバーシティ推進



G Governance ガバナンス

- ✓ 監査等委員会設置会社への移行
- ✓ コンプライアンス研修の実施
- ✓ 現場での体制整備による内部統制の強化



当グループの国際協力への取り組み

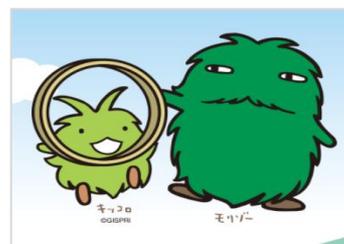
使用済み切手回収運動

社内で回収した使用済み切手をボランティア団体に寄付することで、途上国支援のための活動資金に充当されます。



巻き芯ECOプロジェクトへの参加

主に製造現場で使用された粘着テープの巻芯を回収し、提供することで、海外のマングローブ植樹や国内の森林植樹の活動資金に充当されます。



企業理念

良き企業市民として、時代のニーズを先取りした価値を創造し、
社会の発展に貢献します。



－ 本資料に関するお問合せ先 －
株式会社ナカヨ
財務経理部 経営企画課
TEL : 027-253-1006
FAX : 027-252-7095

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。